



飲食店でも、家庭でも きっちり防ごう食中毒!

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 27 週分・7 月 3 日～7 月 9 日)

平成 29 年 7 月 12 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

《 インフォメーション 》

●腸管出血性大腸菌感染症

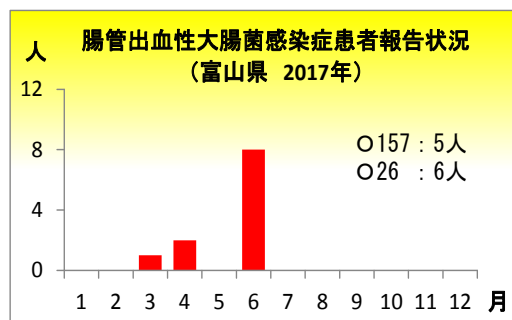
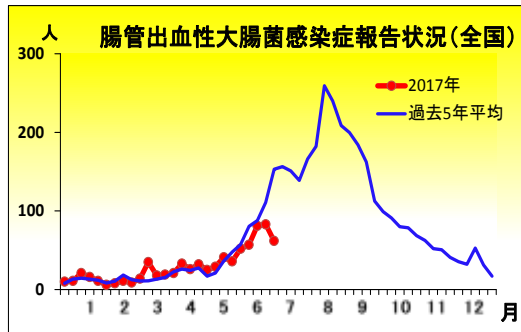
イーヘック

全国の腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症の報告数は、例年 8 月にピークに達し、200 人を超える報告数があります (右図)。各地で EHEC を原因とする食中毒事例が報じられています。

今年の県内の報告数は、7 月 11 日現在で 11 件となっています (下図)。

O157 や O26、O111 に代表される EHEC は、強力な毒素 (ベロ毒素) を産生する大腸菌です。感染すると激しい腹痛や血便などの症状が現れます。患者の一部は溶血性尿毒症症候群 (HUS) や脳症 (けいれんや意識障害など) を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、小児や高齢者は HUS や脳症になりやすいので注意が必要です。

市販されている生肉や野菜には、食中毒菌が付いていることがあります。次の事項に気を付けて、食中毒の発生を防ぎましょう。



- ①調理や食事の前、トイレの後は必ず手を洗う
- ②肉や野菜などの食材は新鮮なものを選ぶ
- ③食材は調理までの間、低温 (10℃以下) で保存する
- ④サラダなど、生で食べる野菜は流水でしっかり洗う
- ⑤まな板などの器具は「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける
- ⑥食肉やレバーなどの内臓肉は生・加熱不十分な状態で食べない

食中毒予防の 3 原則

- つけない
- 増やさない
- やっつける



《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 5 件 (①第 26 週診断分 : 20 歳代、女性 ②第 26 週診断分 : 70 歳代、男性 ③70 歳代、男性 ④80 歳代、女性 ⑤90 歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 1 件 (70 歳代 男性、肺炎型)

五類感染症 ジアルジア症 1 件 (第 22 週診断分 : 80 歳代、男性)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件 (第 26 週診断分 : 70 歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (90 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	手足口病	5.62	2.24	↑
2 位	感染性胃腸炎	4.79	4.03	↑
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.34	2.07	↓
4 位	咽頭結膜熱	0.90	1.17	↓
5 位	流行性耳下腺炎	0.72	0.90	↓
6 位	マイコプラズマ肺炎	0.60	0	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます

アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第27週 平成29年7月3日～平成29年7月9日）

分類	疾患	今週報告分（第27週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1		2	3	8	5	25	10	45	93	
三類感染症	細菌性赤痢									1			1	
	腸管出血性大腸菌感染症								2	1	1	7	11	
四類感染症	A型肝炎							2				1	3	
	デング熱											3	3	
	レジオネラ症	1					1	4		5	1	4	14	
五類感染症	アメーバ赤痢							1				3	4	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1			4		5	
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、タニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネスエラウマ脳炎及びフトバレー脳炎を除く）											1	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6	
	後天性免疫不全症候群									1		1	2	
	ジアルジア症							2		1			3	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3	
	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1	4		2	1	14	21	
	梅毒							1		2		2	5	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ					1	1	1,886	1,364	2,452	1,551	3,414	10,667
							0.06	0.02						
		RSウイルス感染症	1				6	7	32	22	27	37	317	435
		0.25				0.60	0.24							
咽頭結膜熱		8		7	2	9	26	48	18	193	60	141	460	
		2.00		0.88	0.50	0.90	0.90							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	16	6	16	39	101	35	644	214	530	1,524	
			0.33	2.00	1.50	1.60	1.34							
感染性胃腸炎		29	15	25	4	66	139	997	669	1,084	502	2,251	5,503	
		7.25	5.00	3.13	1.00	6.60	4.79							
水痘				4	1	4	9	5	30	66	29	106	236	
				0.50	0.25	0.40	0.31							
手足口病		21	7	82	4	49	163	31	59	214	12	309	625	
		5.25	2.33	10.25	1.00	4.90	5.62							
伝染性紅斑						4	4			2	1	15	18	
						0.40	0.14							
突発性発しん		1	1	4		3	9	31	18	116	51	81	297	
		0.25	0.33	0.50		0.30	0.31							
百日咳										2			2	
ヘルパンギーナ		1		10	1	4	16	11	9	28	6	16	70	
		0.25		1.25	0.25	0.40	0.55							
流行性耳下腺炎	8	1	10		2	21	131	60	375	74	333	973		
	2.00	0.33	1.25		0.20	0.72								
急性出血性結膜炎									3	2		5		
流行性角結膜炎			2	1		3		1	203	8	4	216		
			1.00	1.00		0.43								
細菌性髄膜炎					1	1	1				1	2		
					1.00	0.20								
無菌性髄膜炎					1	1	1				3	4		
					1.00	0.20								
マイコプラズマ肺炎			1		2	3	9	2	13	7	16	47		
			1.00		2.00	0.60								
クラミジア肺炎										1	1	2		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58		
インフルエンザによる入院患者（*）						0	54	3	38	106	98	299		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。